

平成 28 年度 市場中学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針「豊かな心」達成目標

体験活動を充実させ、生徒一人ひとりが自尊感情を高め、いのちを大切にする心をはぐくみ、「いじめ」「差別」を許さない心を、8割以上の生徒が身につけています。

児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

基本的な生活習慣が十分身に付いていない生徒が見られ、学ぶことの意味や意義について認識が弱く、適切な目標設定や自己有用感をもつことが苦手な生徒が多い。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・自らをかけがえのない存在であるとの肯定的な自己認識をはぐくむ「いのちの教育」を進める。
- ・「自分を大切にし、人をもっと大切にする心」をはぐくむ指導の日常的な実践を進める。
- ・一人ひとりが人権について深く考え、行動する機会を設定して人権意識の啓発に努める。

指針1 人権について深く考える機会の設定

- ・人権週間を核とした全校道徳の時間などを活用し、日常生活の振り返りなどを通して、「安心・安全な生活」「いじめや暴力行為の根絶」「平和」などについて深く考え、人権尊重の意識を啓発する取組を進める。
- ・人権作文や人権メッセージを作成し、校内だけでなく保護者・地域などに広く人権尊重の取組について発信することで、人権意識の高揚に努める。

指針2 体験活動を通じた人権尊重精神の育成

- ・福祉に関する学習・体験、地域ケアプラザ夏祭りにおけるボランティア体験、保育園・幼稚園・地域作業所・ケアプラザなどにおける職業体験、さらには修学旅行・自然教室・遠足などにおける体験活動を通して、人権尊重の精神や自己有用感の育成などに積極的に努める。

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・子どもの自尊感情の醸成、コミュニケーション能力、意志決定や問題解決能力の向上を図り、だれもが安心して豊かに過ごすことのできる学校づくりを目指す。